

# あいち病害虫情報 最新情報

平成23年10月19日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除グループ

## 気温は高い

名古屋气象台発表の1ヶ月予報(10月14日発表)によると、気温は高い状況が続くようです。野菜類の軟腐病やハダニ類など気温が高いと発生しやすい病害虫に注意しましょう。

## イチゴの病害虫

炭疽病は、気温が高い状況が続くと発生が多くなります。発病株は伝染源となるので、速やかに抜き取り適切に処分しましょう。

うどんこ病は、多発すると防除が難しくなります。初期防除に努めましょう。

ハダニ類はここ数年発生がやや多い状況が続いています。発生の多いほ場では、天敵を導入する前に、天敵に対する影響の小さい農薬で防除しておきましょう。

## 野菜類、花き類のチョウ目害虫

キャベツではオオタバコガの発生量がやや少ない状況です。県内各地のフェロモントラップにおける誘殺数は概ね平年並の状況ですが、10月中旬に田原市で急増しました。今後、平年より気温が高く推移すると、オオタバコガの発生に好適な条件となりますので、注意してください。

ハスモンヨトウのフェロモントラップにおける誘殺数は平年に比べやや少ない状況ですが、卵塊や若齢幼虫が多く認められるほ場では、今後被害が広がる恐れがあります。幼虫の分散前に防除を実施しましょう。

## 露地野菜の病害

秋冬野菜の病気については、現在発生の多いものはありませんが、キャベツやハクサイの軟腐病やキャベツの黒腐病などは、今後気温が高めに推移すると発生が助長されます。また、激しい風雨後に発生が多くなるので、降雨後には特に注意しましょう。発生が予測される場合は、降雨の前後に銅水和剤などの薬剤で防除しましょう。

## ダイズのミナミアオカメムシ

ダイズにおいて、ミナミアオカメムシの発生が多くなったため、10月5日に発生予察注意報第5号を発表しました。ミナミアオカメムシは、1月の平均気温が5℃を超える地域で越冬します。多発生ほ場では、翌年の発生源を減らすために、収穫前日数に気をつけて農薬で防除しましょう。

## トマト黄化葉巻病を媒介するタバココナジラミに注意！

トマト黄化葉巻病はタバココナジラミによって媒介されます。粘着トラップにおけるコナジラミ類の誘殺数は平年並の状況ですが、気温が高く推移すると発生が増加する可能性がありますので、施設への侵入防止及び防除を徹底しましょう。

問い合わせ先 愛知県農業総合試験場 環境基盤研究部 病害虫防除グループ  
TEL 0561-62-0085 FAX 0561-63-7820